

コグニザント、AI ファーストのマネージドサービス能力を 大規模に深化させるためにアストレイヤを買収

- 買収により、コグニザントの AI Builder 技術スタックに、本番環境向けの AI 運用機能が追加
- データセンターとマネージド・ワークプレイス・サービスに深い専門性を持つ AI インフラとデータセンター・サービスのスペシャリストである Astreya が、史上最大規模のデータセンター・インフラ構築の最中にコグニザントに加わることになる

コグニザント株式会社（本社：米国ニュージャージー州、CEO：ラヴィ・クマール S 以下、コグニザント）は、カリフォルニア州サンノゼに本社を置く、プラットフォーム主導の世界的な AI ファースト IT マネージドサービス・ソリューション・プロバイダーである Astreya を、非公開の金額で買収する正式契約を締結したと発表しました。本取引により、コグニザントは AI Builder としての変革をさらに推進するとともに、Astreya の企業顧客向けの広範なマネージドサービス能力を大規模に活用することで、コグニザントの AI インフラ基盤能力を大幅に拡充することが期待されます。

2001 年に設立され、35 カ国以上で事業を展開する Astreya は、世界最大手のテクノロジー企業にとって信頼できるパートナーとして 25 年にわたる実績を有しており、特に「マグニフィセント・セブン」と呼ばれるハイパースケーラー 6 社とは、成果重視の長期的なマネージドサービス契約を結んでいます。コグニザント独自の AI OpsHub プラットフォームは、即応性評価、シグナル・インテリジェンス、アナリティクス、エージェントによる自動化のためのモジュールと Tech Innovation Office を備えており、コグニザントの AI 人材プールを深化させ、プロダクショングレードの AI デリバリー能力を強化し、幅広い AI の可能性を個々のクライアントの状況に合わせた特定のビジネス成果とエンタープライズ対応プラットフォームに変換することが期待されています。コグニザントのハイブリッド・バイ・デザイン AI インフラストラクチャー戦略と組み合わせることで、バリューチェーン全体にわたる AI インフラストラクチャーの設計、構築、管理における Astreya の差別化された専門知識は、顧客のトランスフォーメーション・ジャーニーを支援し、加速することが期待されます。Astreya が提供する特注クライアント AI ソリューションと、Google Cloud Platform と ServiceNow を軸とするエコシステム・パートナーシップは、コグニザントのグローバル・デリバリー・インフラにおける重要な資産となるでしょう。

「2025 年から 2030 年にかけて、6.7 兆ドル規模の AI データセンター・インフラが構築されると予測されており、5 年後には世界のデータセンター容量は倍増すると予想されています。5 大ハイパースケーラーは、2026 年だけでインフラに 7,000 億ドル近くを費やすと予想されています。コグニザントの AI Builder スタックを補完する Astreya とその独自の AI ツールおよびプロダクション・グレードのインフラストラクチャー・プラットフォームを買収することで、われわれは顧客によるプラットフォーム主導の AI システム構築および大規模運用を支援する態勢がさらに強化されることとなります」とコグニザント最高経営責任者（CEO）の Ravi Kumar S は述べています。

コグニザント Americas の社長である Surya Gummedi は次のように述べています。「特に米国では、データセンターと関連ハイテク投資活動が 2025 年上半期の民間内需成長の 80% を占めると推定されているほか、ハイパースケーラーの設備投資額は現在、年間 4,000 億ドル近くに達しており、データセンターの直接雇用 1 件当たり、他の

経済地域の 6 件以上の雇用を支えています。データセンターを含む AI インフラの効果的かつ信頼性の高い拡張には、深い背景知識と AI Builder の専門知識が必要となります。Astreya の買収は、コグニザントの AI インフラストラクチャ能力を大幅に拡大し、当社の強力な「マグニフィセント・セブン」と呼ばれるハイパースケーラー各社との関係がさらに強化されるものと期待しています。」

Astreya の AI OpsHub は、即応性評価、シグナルインテリジェンス、アナリティクス、エージェントによる自動化のためのモジュールを備えており、コグニザントに、すでに測定可能な結果を生み出している既製のオペレーションエンジンを提供しています。テックイノベーションオフィスに加え、Astreya の特注クライアント AI ソリューション、広範なマネージドサービス能力、Google Cloud Platform と ServiceNow を軸とするエコシステム・パートナーシップは、コグニザントのグローバル・デリバリー・インフラにおける重要な資産となります。

「Astreya は、AI 時代に信頼されるパートナーであることの意味を再定義し、あらゆるソリューションにインテリジェンスを組み込むことで、真の成果をもたらす人間的なつながりを失わないようにしています。コグニザントに参加することは、Astreya のグローバルチームにとって、そして何よりも、最も重要なテクノロジー環境の運用を私たちに託していただいたクライアントの皆様にとって、自然な次のステップとなります。私たちはここ数年、AI に対して慎重かつ規律ある投資を行ってきました。プラットフォームの構築、スペシャリストの育成、マネージド・サービスの提供方法の根本的な再設計などがそれに該当します。コグニザントの一員として AI インフラ時代を切り拓いていくことを楽しみにしています」と、Astreya の社長兼 CEO の Romil Bahl は述べています。

今回の買収は、コグニザントの AI Builder への移行を直接加速させるもので、同社は、AI システムを大規模に運用できる学際的な人材を運用・配置することで、企業が AI インフラ投資とビジネス価値のギャップを埋めるのを支援しています。Astreya は、すでにハイパースケーラーの 6 社が運用する環境内でマネージドサービスを提供している運用マネージドサービスプロバイダーで、ハイパースケーラーの規模でデータセンターインフラ、AI ラボ環境、企業ネットワーク、ワークプレイステクノロジーを管理しており、約 10 年連続して成果ベースのマネージドサービスを提供しています。

コグニザントの既存顧客にとっては、アクセラレーター、プラットフォーム IP、ハイパースケーラーに精通した人材など、実績のある AI 運用能力を即座に展開できるようになることが期待されます。Astreya の既存顧客にとって、コグニザントのグローバルな規模と業界の広さは、有意義に拡大されたサービス能力を引き出し、単独のマネージド・サービス・プロバイダーでは達成不可能なペースで、新たなエンタープライズ AI オペレーション能力の商業化を加速させることが期待されます。

この買収は、必要な規制当局の承認やその他の完了条件を満たすことを条件に、2026 年第 2 四半期に完了する予定です。財務条件は公開されていません。

コグニザントについて

コグニザント (Nasdaq-100: CTSI) は、企業の近代化を実現します。お客様がこの急速に変化する世界で競争優位性を発揮できるよう、テクノロジーの近代化、プロセスの再構想、CX の実現に向けてご支援いたします。米国に本社を置き、Fortune 500 の 185 位にランクするコグニザントは、Fortune 誌上においても「世界で最も賞賛される企業」として高い評価を獲得しています。詳細な会社情報につきましては、www.cognizant.com をご参照ください。

Astreya について

Astreya は、複雑なテクノロジー環境の設計、導入、管理を通じて企業を支援する、グローバル IT マネージドサービスプロバイダーです。ハイブリッド・クラウド、データセンター、ネットワーク・インフラ、デジタル・ワークプレイスにわたるエンドツーエンドのソリューションを提供しています。インテリジェントな自動化と AI は、効率化を促進し、サービス提供を加速させ、顧客の成長を阻む障壁を取り除くために、当社が構築するあらゆる領域に組み込まれています。

アドバイザー

Mayer Brown はコグニザントの法律顧問を務めています。J.P. Morgan Securities LLC が独占的財務アドバイザーを務め、Latham & Watkins および Skadden, Arps, Slate, Meagher & Flom LLP が Astreya の法律顧問を務めています。

コグニザントジャパン株式会社（コグニザント Japan KK）について

コグニザント ジャパンは、Fortune 500 企業に入る世界有数のデジタルソリューションカンパニーです。ヘルスケア、金融、自動車、通信、製造業などの業界向けに、IT コンサルティング、カスタマーエクスペリエンスの変革、データサイエンスの支援、ビジネスアプリケーション開発の提供をしています。世界中から集められたナレッジと先端のエンジニアリングを活用しながら、戦略策定から開発までをスピーディに実行することで、企業の事業成長にブレークスルーを起こします。

創立：2008 年 4 月

代表取締役社長：渡辺宣彦

資本金：3 億円

本社：東京都千代田区麹町 2-1PMO 半蔵門 7 階

社員：1,000 名

国内顧客数：80 社

主な顧客業界：保険、医薬、医療機器、金融、製造、流通、テクノロジー

事業内容：

- ・デジタルビジネスコンサルティング
- ・BPO
- ・ビジネス基盤開発、保守運用
- ・データ分析、データマネジメント

コグニザントジャパンの詳細はこちらをご覧ください→

<https://www.cognizant.com/jp/ja/about-cognizant>

将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法のセーフハーバー条項に基づき作成された、将来の見通しに関する記述に該当する可能性のある記述が含まれており、その正確性は必然的に、将来の出来事に関するリスク、不確実性、仮定に左右され、正確でないことが判明する可能性があります。これらの記述には、予想される成長を含む Astreya の事業、シナジー効果、新たな事業機会、成長に関する予想利益を含む提案された取引の予想利益、取引完了の予想時期、統合会社の計画、目的、期待、意図、AI データセンターへの投資予測、ハイパス

ケーラの設備投資予測、および過去の事実ではないその他の記述に関する明示的または黙示的な将来予想に関する記述が含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は約束でも保証でもなく、さまざまなリスクや不確実性の影響を受けますが、その多くは当社が制御できないものであり、実際の結果はこれらの将来見通しに関する記述で意図されたものとは大きく異なる可能性があります。既存の投資家および投資を検討されている方々は、本書の日付に限って有効である「将来の見通しに関する記述」を過度に信頼しないようご注意ください。実際の結果が明示的または黙示的なものと大きく異なる可能性のある要因には、本取引から期待される便益が完全に実現されないリスク、または実現までに予想以上の時間を要するリスク、本取引の発表および保留の結果として両当事者の事業が混乱するリスク、本取引に必要な承認を期待されるスケジュールで取得できるか、またはまったく取得できないリスク、およびかかる承認が本取引の完了後に当社に悪影響を及ぼす、または本取引から期待される便益に悪影響を及ぼす可能性のある条件の賦課につながるリスク、風評リスクおよび本取引に対する各社の顧客、供給業者、従業員またはその他のビジネス・パートナーの反応、本取引契約における取引完了条件が充足されないこと、または本取引の完了が予期せず遅延すること、もしくは本取引契約の解除の原因となりうる事象、変更またはその他の状況が発生すること、想定外の要因または事象の結果など、取引の完了に予想以上の費用がかかる可能性、取引後のコグニザントの拡大した事業および運営の管理および監督に関するリスク、Astreya の事業および運営をコグニザントに統合することが予想以上に費用または困難となるリスク、または想定外の要因または事象の結果など、Astreya の事業を当社の事業とうまく統合できないリスク、一般的な経済状況、当社が競合する市場の競争的で急速に変化する性質、人材市場の競争と従業員の採用と維持への影響、AI ベースの技術をうまく利用する当社の能力、サイバー攻撃に起因する法的リスク、評判リスク、財務リスク、移民や税金に関するものを含む規制環境の変化などが挙げられます。将来の業績に影響を及ぼす可能性のあるその他の要因については、当社の最新の年次報告書（フォーム 10-K）および証券取引委員会へのその他の提出書類で説明されています。適用される証券法に基づいて求められる場合を除き、新たな情報、将来の出来事、その他の要因による結果を問わず、コグニザントは将来の見通しに関する記述を更新または修正する義務を負いません。